



GOOD DESIGN
AWARD 2024

おぎの 美術館 2025

混沌と生命がひしめき合う「おぎ群落」を目の前に、

あなたは何を感じますか。

10
WED / 15
—
12
SUN / 07

【開館時間】 10:00~17:00 頃 日没まで 小雨決行 ※休館日 11/10 (月)

【アクセス】

路線バス 【近鉄大和西大寺駅南口から】「朱雀門ひろば前」停留所まで約 6 分

【近鉄奈良駅から】「朱雀門ひろば前」停留所まで約 16 分

【JR 奈良駅西口から】「朱雀門ひろば前」停留所まで約 10 分

下車後 おぎの美術館〈本館〉まで徒歩 5 分 〈そよ館・そそや館〉まで徒歩 10 分

徒歩 【近鉄大和西大寺駅南口から】約 20 分

【近鉄新大宮駅から】約 20 分

おぎの美術館
The Amur Silver Grass Art Gallery



平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site National Historical Park

おぎの美術館とは

奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 根本研究室と平城宮跡歴史公園が共同で研究を進める「平城宮跡アオハルプロジェクト」。平城宮跡歴史公園の魅力を若者をはじめとする多くの人々に発信するため、活動を行っています。

「おぎの美術館」4年目の開催となる今年は、おぎの美しさに焦点を当てた〈本館〉、おぎと様々な植物が入り混じる植生に焦点を当てた〈そよ館〉〈そそや館〉を制作しました。特に、〈そそや館〉では円環の小径でおぎ原を巡りながら、植生の変化を学び感じられるように工夫しました。

ここは自然と人が共存する新感覚のアート空間。
自然の世界を切り取るフレームの向こうには何が見えますか？ぜひあなた自身の感覚で、平城宮跡の自然の美しさや魅力を体感してください。



This is a new kind of art space where nature and people coexist. We invite you to experience the natural beauty and charm of the Heijo Palace Site through your own senses.

美しく壮大な奈良の原風景に囲まれた、自然一体型の屋外美術館です。



おぎと外来植物

おぎなどの在来植物と外来植物が入り混じった風景が見られます。平城宮跡の自然は、今まさに転換期に直面しています。



侵略



在来植物 おぎ

ススキに比べて穂が白っぽくて長いのが特徴です。

外来植物 セイタカアワダチソウ

繁殖力が非常に強く、おぎなどの在来植物を侵略しています。

成長する美術館

会期中のおぎや大地の成長の様子を観察し、データとして収集、研究しています。

データは随時更新中！
(HP から X・Instagram を check!)→



平城宮跡の自然を守るために

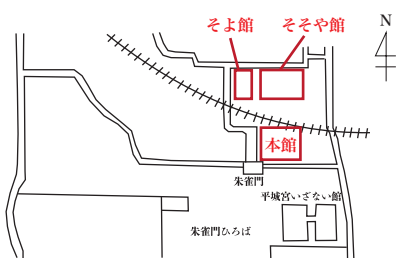
外来植物であるセイタカアワダチソウが繁殖するエリアを中心に順路を刈り込み、生物多様性の保全を図っています。
また、カヤネズミの巣がある場所の刈取りを避けるなど、生物への影響が最小限になるよう工夫しています。



おぎの美術館

2025 10/15 WED - 2025 12/07 SAT

※休館日 11/10 (月)



【本館】

朱雀門越えてすぐ右手
(鑑賞時間目安 約15分)

【そよ館】

踏切を越えてすぐ右手
(鑑賞時間目安 約5分)

【そそや館】

そよ館を出て道なり
(鑑賞時間目安 約15分)

【開館時間】10:00-17:00 頃 日没まで (小雨決行)

【入館料】無料

【主催】平城宮跡アオハルプロジェクト

(奈良女子大学 生活環境学部 住環境学科 根本研究室・平城宮跡管理センター)

【お問い合わせ先】0742-36-8780 (平城宮跡管理センター)



※おぎ群落にはたくさんの生き物が生息しています。

ご鑑賞の際は、園路以外へは立ち入らないようお願いします。

※足元が不安定な箇所がございます。

特にベビーカーや車椅子でご来館の際は十分ご注意ください。

※フレームなどの展示物にぶら下がらないでください。

おぎの美術館



みどりをはぐくむ
明日のために



撮影して、SNS でシェアしてみよう！

平城宮跡

おぎの美術館

自然